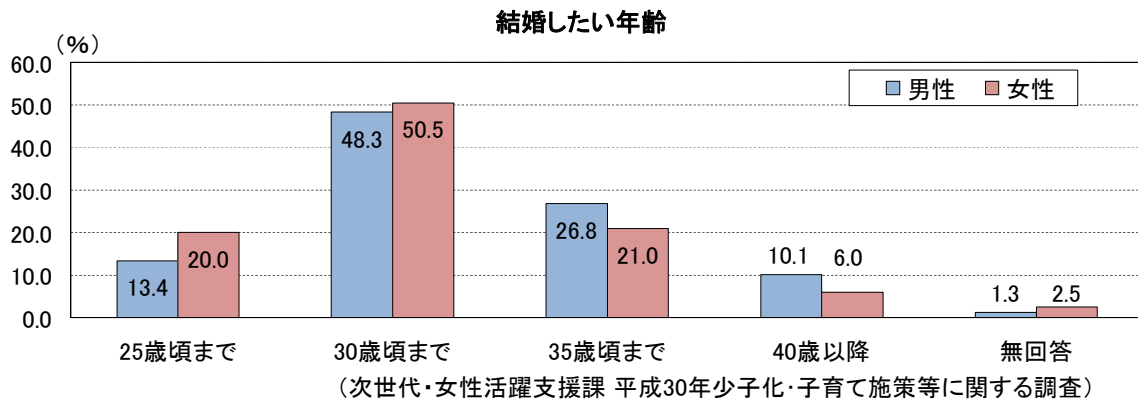
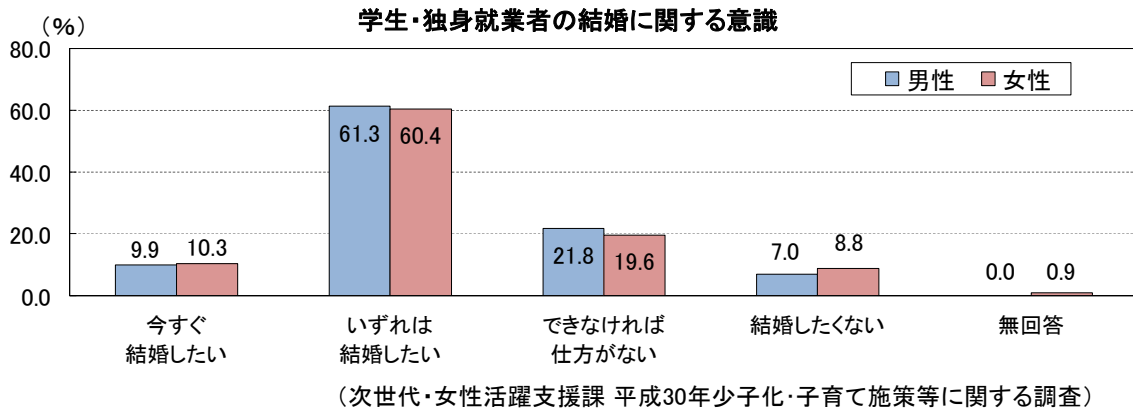


3. 結婚・子育てをめぐる状況

(1) 学生・独身就業者の結婚に関する意識

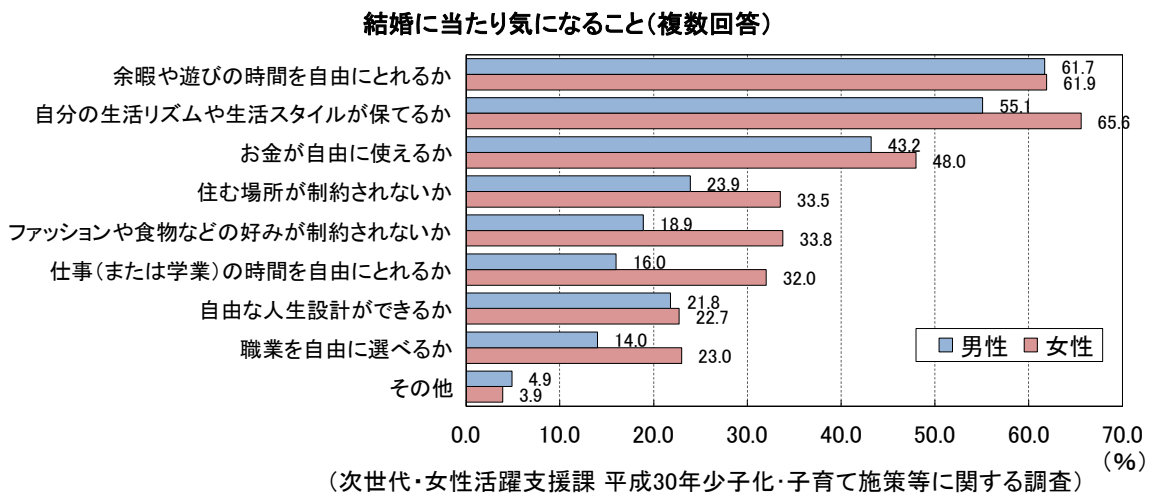
県内の学生や独身の就業者へのアンケートでは、男女ともに「いずれは結婚したい」と答えた人が最も多く、「今すぐ結婚したい」をあわせた結婚に前向きな人は7割を超えています。一方で、「結婚できなければ仕方がない」と考えている人も一定割合います。

また、「いずれは結婚したい」と答えた人に、何歳までに結婚したいかを聞くと、男女ともに「30歳頃まで」を選択する人が最も多くなっています。



(2) 結婚に当たり気になること

県内の学生や独身の就業者に対し、結婚をすることを考えたときに、どのようなことが気になるかを聞くと、男女ともに「余暇や遊びの時間を自由にとれるか」、「自分の生活リズムや生活スタイルが保てるか」、「お金が自由に使えるか」が、上位3項目となっており、男女の意識に違いが見られない傾向となってい

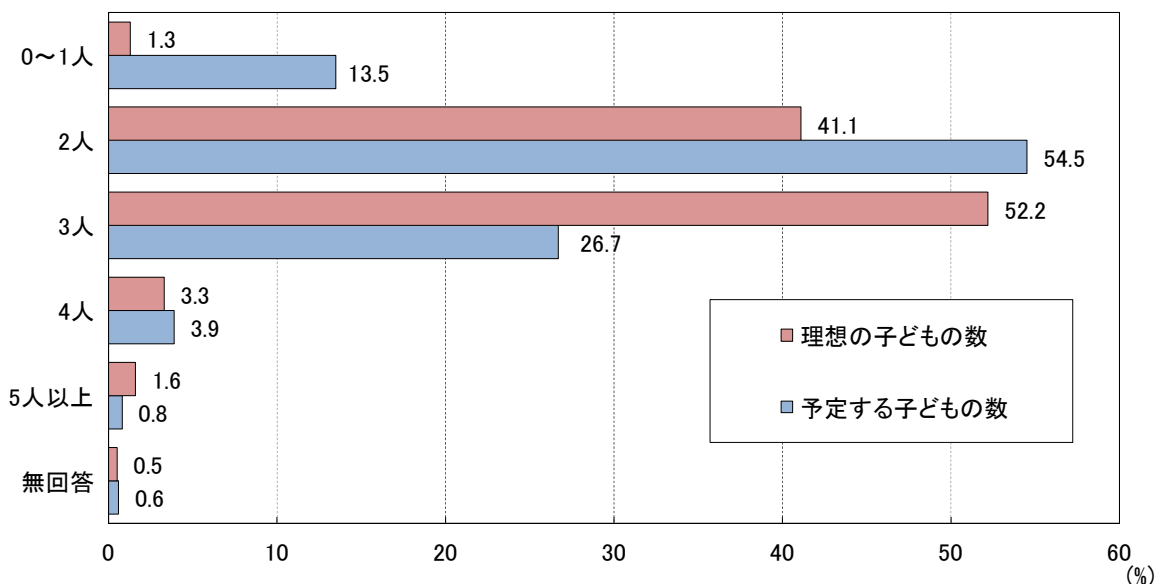


(3)理想の子どもの数と予定する子どもの数

保育園・幼稚園等の未就学児から小・中学生、高校生までの児童・生徒の保護者へのアンケートでは、理想とする子どもの数は「3人」と答えた人が最も多く、その割合は50%を超えています。実際に何人の子どもをもうけるつもりかを聞くと、「2人」と答えた人が最も多くなります。

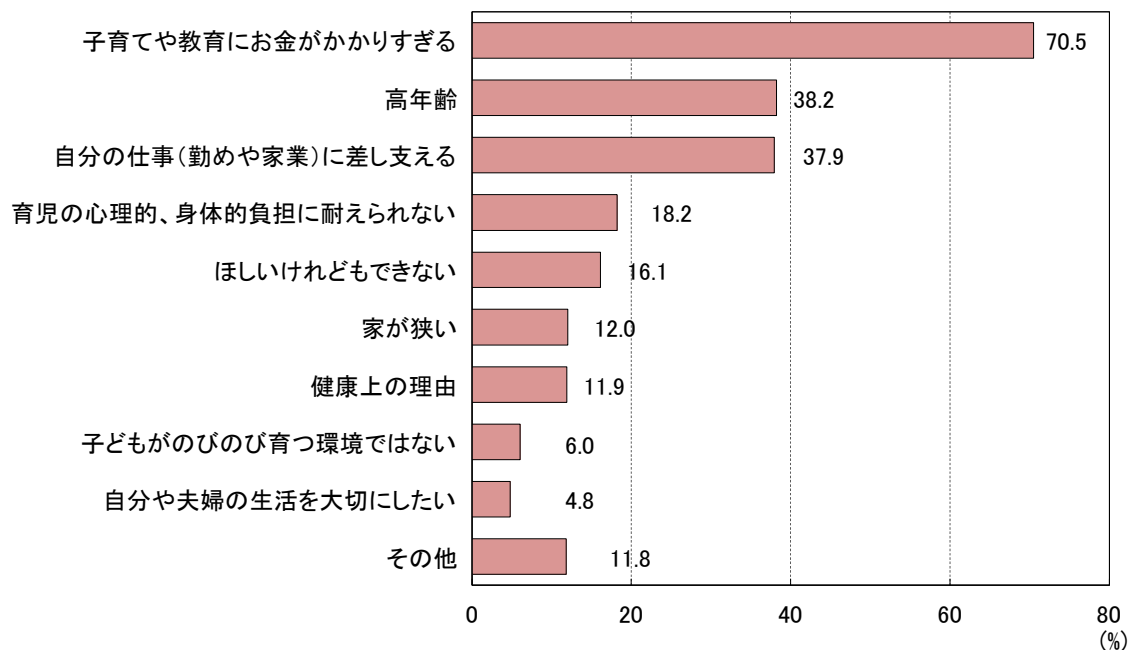
また、こうしたギャップが生じる理由を聞くと、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」、「自分の仕事に差し支える」、「高年齢」と答える人が多くなっています。

理想の子どもの数と予定する子どもの数



(次世代・女性活躍支援課 平成30年少子化・子育て施策等に関する調査)

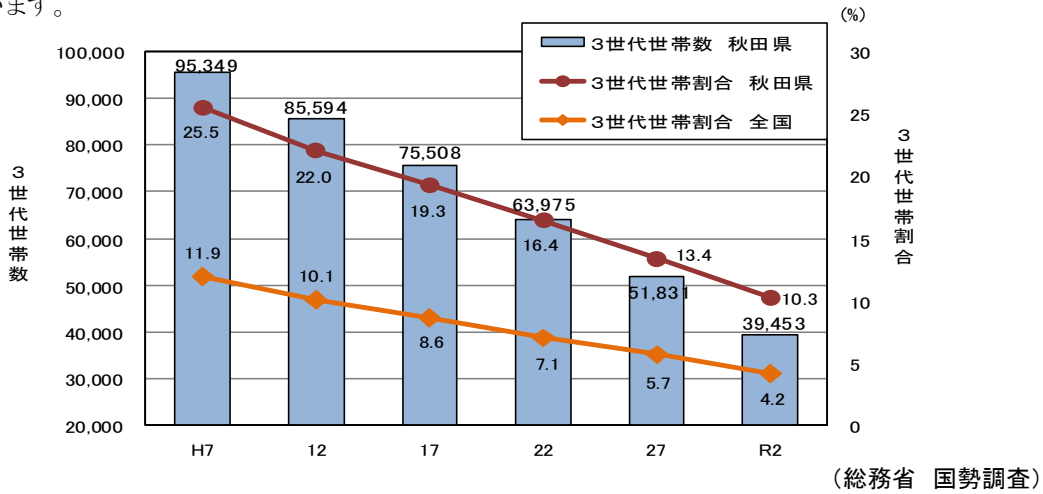
理想とする子どもの人数が持てないと思う理由



(次世代・女性活躍支援課 平成30年少子化・子育て施策等に関する調査)

(4)3世代世帯の状況

3世代世帯は、核家族に比べ、子育てへの協力が得られやすい家族形態ですが、秋田県の状況を見ると、3世代世帯の割合は全国に比べて高いものの、3世代世帯数、3世代世帯割合ともに年々減少が続いています。

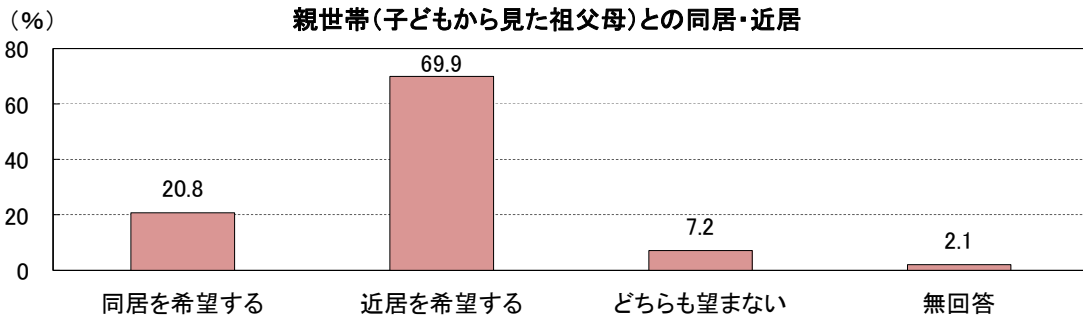


3世代世帯・・・世帯主との続柄が、祖父母、世帯主の父母(または世帯主の配偶者の父母)、世帯主(または世帯主の配偶者)、子(または子の配偶者)及び孫の直系世代のうち、3つ以上の世代が同居している世帯

(5)親世帯との同居・近居、親世帯からの支援

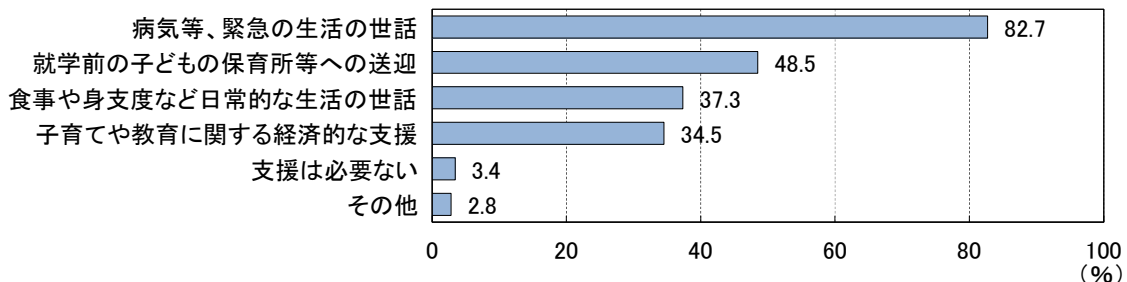
児童・生徒の保護者へのアンケートでは、親世帯(子どもから見た祖父母)との同居・近居を望むかを聞くと、「近居を希望する」が69.9%と最も高い割合となっており、子どもの学年や人数などの区分ごとに見ても、全ての区分で「近居を希望する」の割合が6割を超えています。

また、親世帯からどのような手助けが必要かを聞くと、「病気等、緊急の生活の世話」が最も高い割合となっています。



(次世代・女性活躍支援課 平成30年少子化・子育て施策等に関する調査)

親世帯(子どもから見た祖父母)からの支援(複数回答)



(次世代・女性活躍支援課 平成30年少子化・子育て施策等に関する調査)